

告示	番号	85	慢性心疾患
	疾病名	肺動脈弁下狭窄症	

## 肺動脈弁下狭窄症

はいどうみやくべんかきょうさくしょう

### 概念・定義

肺動脈弁下（右室漏斗部）の線維筋性の狭窄で右室圧負荷により右室仕事量が増大する。他に心奇形が無く、心室中隔欠損が自然閉鎖した型も存在する。中等度から重度の症例では外科手術を考慮する。バルーン拡大術は無効である。

### 症状

臨床所見は合併する心疾患により異なるが、単独の本症では乳児期に発症することは稀である。成長とともに進行することがある。胸骨左縁上部に肺動脈弁狭窄類似の収縮期駆出性雑音を聴取する。駆出音は聴取しない

### 治療

中等度から重度の症例では右室二腔症に準じて外科手術を考慮する。  
バルーン拡大術は無効である

抜粋元：[http://www.shouman.jp/details/4\\_49\\_62.html](http://www.shouman.jp/details/4_49_62.html)